

平成 24 年度

# 年報

山口県文書館

## 目次

<b>I 概要</b>		8 刊行物	16
		24年度の刊行物	16
1 沿革	2	9 地方調査員	16
(1) 設立	2	(1) 地方調査員会議	16
(2) 年表	2	(2) 地方調査員による文書調査報告実績	16
2 組織	9	(3) 地方調査員名簿	16
3 決算	9	10 広報・普及	16
4 施設	9	(1) 広報活動	16
		(2) 第7回中国四国地区アーカイブズウィーク	17
<b>II 平成24年度業務報告</b>		(3) 資料小展示	17
1 24年度概観	10	(4) 古文書入門講座	17
2 収蔵状況	11	(5) 古文書専修講座	17
3 調査	11	(6) 古文書実践講座	17
4 収集	11	(7) 文書館活用講座	18
(1) 諸家文書	11	(8) 行政文書保存管理研修会	18
(2) 行政文書	11	(9) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議	19
(3) 行政資料	12	11 研究活動	18
(4) 図書雑誌	12	(1) 研究実績	18
(5) その他(特設文庫)	12	(2) 研究会等	18
5 整理	12	12 その他	19
(1) 藩政文書	12		
(2) 諸家文書	13	<b>III 平成25年度の計画</b>	
(3) 行政文書	13	1 業務	21
(4) 行政資料	13	(1) 保存対策	21
(5) 図書雑誌	13	(2) 刊行物	21
(6) その他(特設文庫)	13	(3) 普及活動	21
6 保存対策	13	2 職員	22
(1) 修理	13	3 地方調査員	22
(2) 資料燻蒸	13	4 当初予算	22
7 利用	13		
(1) 文書館利用状況	13		
(2) ホームページ利用者数	14		
(3) 調査室(閲覧室)利用者数	14		
(4) 電子情報処理組織による申請等	14		
(5) 閲覧者数の状況	14		
(6) 閲覧文書点数の状況	15		
(7) 特別利用の状況	15		
(8) 貸出	15		

# I 概要

## 1 沿革

### (1) 設立

当館は、昭和 34 年 4 月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和 27 年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約 5 万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和 12 年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料 3 千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治 36 年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和 34 年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

### (2) 年表

昭和34年度 (1959)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34. 4. 1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される	
10. 1	専任職員が配置される	
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始	
昭和35年度 (1960)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35. 4. 1	閲覧業務を開始する	
8. 1	三浦家文書受託	
11.30	「防長風土注進案 12 山口宰判上」刊行	
36. 3.10	「防長風土注進案 16 吉田宰判」刊行	
昭和36年度 (1961)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36. 5.16	田中義一文書受託	
6.15	「山口県文書館概要」刊行	
6.15	「防長風土注進案 1 大島宰判上」刊行	
8.31	「防長風土注進案 15 舟木宰判」刊行	
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催	
11.10	「防長風土注進案 13 山口宰判下」刊行	
12.10	「防長風土注進案 2 大島宰判下」刊行	
37. 1.31	「防長風土注進案 17 美祢宰判」刊行	
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行	
昭和37年度 (1962)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37. 4.20	「防長風土注進案 3 奥山代宰判」刊行	
6.30	「防長風土注進案 4 前山代宰判」刊行	
8. 8	徳山毛利家文庫受託	
9.20	「防長風土注進案 19 前大津宰判」刊行	
11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）	

11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案 5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始
38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
<hr/>	
昭和38年度 (1963) (館長 上村忠治<図書館長兼務>)	
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始 (「山口県文書取扱規程」に基づく)
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催 (～11.3)
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される (施行 39.4.1)
3.26	山口県文書館規則が改正される (施行 39.4.1)
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
<hr/>	
昭和39年度 (1964) (館長 上村忠治<図書館長兼務>-7.5-木原立美<図書館長兼務>)	
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催 (～10.18)
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
<hr/>	
昭和40年度 (1965) (館長 木原立美<図書館長兼務>)	
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始 (「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく)
9.20	「文書館ニュース 1号」刊行 (以後年刊)
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行 (以後不定期刊行)
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
<hr/>	
昭和41年度 (1966) (館長 兼清正徳)	
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第1巻」刊行
<hr/>	
昭和42年度 (1967) (館長 兼清正徳)	
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第2巻」刊行
<hr/>	
昭和43年度 (1968) (館長 兼清正徳)	
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる

昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される (職名は研究員・専門研究員)
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第3巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行
3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行
昭和46年度 (1971)	(館長 兼清正徳)
46. 6. 7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会 (西日本地区)」の会場となる
7. 1	地方調査員制度を発足させる
47. 3. 1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行 (以後年刊)
昭和47年度 (1972)	(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行
48. 3.20	「山口県史料古代編」刊行
昭和48年度 (1973)	(館長 松村茂)
48. 7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催 (～8.18)
49. 3. 1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行 (以後年刊)
昭和49年度 (1974)	(館長 松村茂)
49. 5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行
50. 1. 1	成人大学古文書解読講座に協力 (以後平成11年度まで)
昭和50年度 (1975)	(館長 田村武文)
51. 1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (通称全史料協) の創立大会を開催
昭和51年度 (1976)	(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会 (第1回) を開催
昭和52年度 (1977)	(館長 田村武文)
53. 2.22	古文書・行政文書取扱者講習会 (第2回) を開催
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行
昭和53年度 (1978)	(館長 田村武文)
54. 3.20	「山口県史料中世編 上」刊行
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行
昭和54年度 (1979)	(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行
5.～3.0	山口県古文書所在確認緊急調査を実施
10.17	全国都道府県史協議会を開催 (～10.18)
昭和55年度 (1980)	(館長 高佐原茂郷)
55. 6.17	有光家文書受贈
昭和56年度 (1981)	(館長 平田豊彦)
57. 2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行

昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58. 2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3. 0	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11. 1	古文書解説 (基礎) 講座を開催 (以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59. 2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	
昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (~10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	

3.30 開館 30 周年記念「山口県文書館の 30 年」刊行	
平成2年度 (1990)	(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行
平成3年度 (1991)	(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940 年代－1950 年代」刊行
平成4年度 (1992)	(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される
8.13	古文書活用講座を開催 (~8.19、以後毎年)
5. 3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940 年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度 (1993)	(館長 松永精一郎)
6. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 1 柳井市金屋小田家文書第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 2 リーフレット・ポスター1940 年代～1960 年代」刊行
平成6年度 (1994)	(館長 山本 直)
7. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 2 柳井市金屋小田家文書第 2 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930 年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度 (1995)	(館長 山本 直)
8. 3.29	「山口県文書館諸家文書目録 3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録 3 地図 1950 年代まで」刊行
平成8年度 (1996)	(館長 宮本典彦)
8. 6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催 (以後 8.23、9.12、10.15 の計 4 回開催)
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20 年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度 (1997)	(館長 宮本典彦)
9. 2. 1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催 (~12 月、毎月展示替え)
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10. 2. 1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 4 1960 年代第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録 5 佐藤家文書」刊行
平成10年度 (1998)	(館長 宮本典彦)
10. 4.21	古文書入門講座を毎月開催 (以後毎年)
6.30	「大内版法華経板木」59 枚が国指定重要文化財 (歴史資料) に指定される
11. 1.21	第 1 回文書館ウィーク開催 (~1.27)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 5 1960 年代第 2 分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 1 公儀事諸控総目次 I」刊行
平成11年度 (1999)	(館長 宮本典彦)

11. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12. 1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
平成12年度（2000）	
12. 4. 1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13. 1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度（2001）	
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
平成14年度（2002）	
14. 4. 1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）
12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録（近代）」刊行
15. 1.17	第2回文書館デイズ開催（～1.19）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新（文書館・博物館・美術館情報発信事業）
平成15年度（2003）	
15. 4. 1	文書館収集資料整理事業に着手（緊急雇用創出事業、～16年度）
16. 1.23	第3回文書館デイズ開催（～1.25）
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録（近代）」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次Ⅰ」刊行
3.31	ホームページに画像データベース（毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット）を追加
平成16年度（2004）	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催（～10.29）
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正（11.1施行）
17. 1.21	第4回文書館デイズ開催（～1.23）
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度（2005）	
17. 6. 9	山口県行政文書（県庁文書12,597点、郡役所文書952点）が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催（～6.12）
18. 1.20	第1回「山口お宝展」（重要文化財「大内版法華経板木」を展示）開催（～2.12）
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次Ⅱ」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書一」刊行
平成18年度（2006）	
18. 6. 1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催（～6.7）



10. 8	日曜開館（月曜閉館）を試行開始
11.10	第 6 回文書館デイズ「御屋形様の文書－雪舟のパトロン大内氏－」開催（～11.12）
19. 1.19	第 2 回「山口お宝展」（吉田松陰所用の印章）開催（～2.18）
3.30	「毛利家文庫目録別冊 5 諸事小々控総目次Ⅲ」刊行
3.30	「行政資料目録 10 リーフレット・ポスター 1970 年代～1980 年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
<hr/>	
平成19年度（2007）	
（館長 熊寄歳介）	
19. 4. 1	日曜開館（月曜閉館）開始
6. 1	第 2 回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道に行く」開催（～6.7）
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開（閲覧提供）開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる（～11.10）
20. 1.18	第 3 回「山口お宝展」（村上水軍関係文書）開催（～2.17）
3.31	「諸家文書目録 8 平生町佐合島佐川家文書 第 1 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 1 山口県布達達書Ⅰ ー明治 4～10 年ー」刊行
<hr/>	
平成20年度（2008）	
（館長 熊寄歳介）	
20. 6. 1	第 3 回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催（～6.8）
10. 1	資料小展示「天璋院篤姫と長州－文書の中の篤姫－」（～11.16）
21. 1.17	大学入試センター試験・日本史 A で当館のことが取り上げられる
3.21	第 4 回「山口お宝展」（鎌倉時代の塩浜絵図－長門国正吉郷入江塩浜絵図－）開催（～4.19）
3.31	「諸家文書目録 9 平生町佐合島佐川家文書 第 2 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 2 山口県布達達書Ⅱ ー明治 11～14 年ー」刊行
<hr/>	
平成21年度（2009）	
（館長 熊寄歳介）	
（通年）	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
（通年）	文書館情報発信充実事業
（通年）	全史料協事務局業務（副会長 館長熊寄歳介）
21. 6. 2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏－戦国のアーカイブズ－」を開催（～6.9）
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財（歴史資料）に指定
22. 3. 3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示（「足利将軍の出した文書」～4.4）
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー」（開館 50 周年記念出版）刊行
<hr/>	
平成22年度（2010）	
（館長 熊寄歳介）	
（通年）	文書館情報発信充実事業
（通年）	全史料協事務局業務（副会長 館長熊寄歳介）
22. 6. 1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催（～6.6）
8. 8	行政文書保存管理研修会を開催（102 機関 114 名参加）
10.15	国指定重要文化財（歴史資料）「日明貿易船旗」「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催（13 市町 30 名参加）
3.31	「行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ ー明治 15～19 年ー」刊行

平成23年度 (2011)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業	
23. 6. 1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和 38 年山口国体のころ～」を開催 (～6.5)	
8.19	行政文書保存管理研修会を開催 (98 機関 105 名参加)	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (全 19 市町 37 名参加)	
11.14～ 2.29	館改修工事につき全面休館	
3.31	文書館のウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした。	

平成24年度 (2012)		(館長 長谷川信明)
23. 6. 1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (～6.10)	
9.10	行政文書保存管理研修会を開催 (113 名参加)	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (16 市町、県ほか 42 名参加)	
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始	

## 2 組織 (平成 24. 4. 1 現在)

館長 (1 名)	——	副館長 (1 名)	——	専門研究員	(5 名)
				総務	(兼務、2 名)
				嘱託職員・臨時職員	(2 名)
				地方調査員	(6 名)

## 3 決算 (一般会計、単位:千円)

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
16,956	14,382	27,213	20,163	23,180	14,997

## 4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m<sup>2</sup>、延べ床面積 9,819 m<sup>2</sup>

文書館面積 1,232 m<sup>2</sup> (利用者ゾーン 209 m<sup>2</sup>、業務ゾーン 235 m<sup>2</sup>、書庫<地下 2 層・新書庫>)

図書館面積 7,855 m<sup>2</sup>、点字図書館面積 190 m<sup>2</sup>、レクチャールーム面積 542 m<sup>2</sup>

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

## II 平成 24 年度業務報告

### 1 24 年度概観

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

#### アーカイブズウィーク

6月1日（金）～10日（日）に第7回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国地区のアーカイブズが、おおむね6月上旬に一斉に広報・普及・啓発活動を行うもので、本館では「絵図と古文書で歩く萩往還」をテーマとして、アーカイブズ展示「絵図と古文書で見る萩往還」、歴史探究講座「絵図と古文書で歩く萩往還」、ギャラリートーク、アーカイブズ歴史小話、文書館を使ってみよう！などを行った。→P17

#### 調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。→P16

#### 収集

9氏から9件1,555点の寄贈、5氏から5件1,132点の寄託を受けた。→P11

#### 行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書122点、行政資料521点を引き継いだ。→P11・12

#### 整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書も整理を進めた。→P12  
資料の活用と保存を図るため、損傷の顕著なもの等について修理を行った。→P13

#### 普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

##### 古文書講座

「古文書入門講座」「古文書専修講座」「古文書実践講座」の3講座を開設し、それぞれ通年10回実施した。→P17・18

##### 文書館活用講座

教員対象の「授業で使える文書館活用講座」を8月に4日連続で実施した。→P18

##### 行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。→P18

##### 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を開催した。→P18

## 利用者

今年度の閲覧者は、2,204人（昨年度1,952人）、また、資料小展示の閲覧者などを加えた入館者は5,139人（昨年度4,740人）であった。

閲覧者は一般、学生、公務員、教員の順に多く、県史編纂関係者の利用も目立つ。→P13・14

## 2 収蔵状況

（平成25.3.31現在）

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	129,927	76,815	144,348	40,835	21,757	507,194

上記のうち、24年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	2,687	122	521	625	21	3,976

## 3 調査

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。

## 4 収集

### (1) 諸家文書

#### (ア) 寄贈

阿武孝太郎文書	274点
一宝家文書	15点
内藤家文書	377点
馬來家文書	27点
松岡家文書	72点
松田家文書	526点
松元淳収集史料(追加)	5点
山本繁収集史料	11点
吉山家文書	248点
(計 1,555点)	

#### (イ) 寄託

池田邦夫所蔵文書	1点
惠本家文書	13点
尾崎家文書	1,004点
能美家文書	107点
古畑家文書	7点
(計 1,132点)	

### (2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼を行い、122点を引き継いだ。引き継いだ文

書の主なものは以下のとおり。

新産業振興課	30 点
統計分析課	16 点
薬務課	13 点
港湾課	12 点
地域安全・安心推進室	11 点
廃棄物リサイクル対策課	11 点

(3) 行政資料

・冊子	509 点
・リーフレット類	12 点
・ポスター類	—
・地図類	—
・図面類	—
・35mm ネガフィルム	—
・写真資料	—
・16mm 映画フィルム	—
・ビデオテープ	—
・録音テープ	—

(計 521 点)

(4) 図書雑誌 625 点

(5) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	21 点
・教科書文庫	—
・雑誌文庫	—
・文化財文庫	—

## 5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 毛利家文庫

遠用物のうち近世後期の整理を完了し、8,933 点の閲覧提供を開始した。

(イ) 徳山毛利家文庫

引き続き未整理の書状類の整理を進めた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

名称	内容等	点数
阿武孝太郎文書	満蒙開拓団・小中学校教員	274 点
池田邦夫所蔵文書	豊後大友氏	1 点
一宝家文書	萩藩御用大工	15 点
惠本家文書	庄屋・畔頭	13 点

尾崎家文書	給庄屋・給畔頭・アフガニスタン写真	1,004 点
内藤家文書	毛利氏家臣・萩藩士	377 点
能美家文書	大内氏家臣・毛利氏家臣・萩藩士	107 点
古畑家文書	コレクション（五国注文ほか）	7 点
馬來家文書	萩藩士	27 点
松岡家文書	宮大工	72 点
松田家文書	村会議員	526 点
松元淳収集史料(追加)	コレクション（和書）	5 点
山本繁収集史料	コレクション（武永家ほか）	11 点
吉山家文書	畔頭・町会議員	248 点

(計 2,687 点)

(3) 行政文書

平成 24 年度収集文書 122 点について整理し、仮目録を作成した。

(4) 行政資料

平成 24 年度収集文書 521 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

平成 24 年度受入図書 625 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫）

平成 24 年度収集資料 21 点について整理し、仮目録に追加登録した。

## 6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

行政文書 県庁戦前 A 士族のうち損傷の著しい給禄帳類 3 冊（重要文化財）を一般社団法人 国宝修理装演師連盟九州支部（福岡県太宰府市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。

(2) 修理（絵図）

利用ニーズの高い「幕末山口市街図」および地下上申絵図 2 点（巢山村清図・切畑村清図）、「鞍馬蓋寺縁起絵巻」について、（株）桂文化財修理工房に業務を委託して補修を実施した。

(3) 資料燻蒸

今年度は実施しなかった。

## 7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 278 日（前年度 204 日）  
 入館者 5,139 人（前年度 4,740 人）  
 閲覧者 2,204 人（前年度 1,952 人）であった。

なお、日曜開館の閲覧者実績は、平均 6.4 人（前年度 6.5 人）、平日の閲覧者実績は 8.1 人（同 10.8 人）、土曜日は 8.8 人（同 8.4 人）であり、全体の平均は 7.9 人（同 9.6 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（5）及び（6）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、平成 25 年 3 月末現在で 396,195 件（この 1 年間では 86,536 件）となった。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写台	絵図室	特別室	合計
H24年度 (H23年度)	5,139 (4,740)	2,204 (1,952)	H24年度 (H23年度)	1,254 (1,055)	310 (347)	39 (20)	1,603 (1,422)

(4) 電子情報処理組織による申請等

文書掲載等承認の手続きとして、利用者の便宜を図る観点から利用規定を改正し、平成 18 年 9 月 1 日から電子申請ができることにしている。

(5) 閲覧者数の状況

職業		平成 24 年度				平成 23 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率	合計 (人)	比率
教員	大学	97	165	262	14.6%	219	15.7%
	小・中・高校	52	3	55		75	
	その他	4	0	4		12	
学生	大学院	80	89	169	24.5%	120	21.7%
	大学・その他	257	113	370		304	
公務員	国	3	8	11	14.7%	9	21.8%
	都道府県	177	24	201		271	
	市町村	93	19	112		146	
博物館・研究機関		13	43	56	2.5%	39	2.0%
報道・出版		24	14	38	1.7%	23	1.2%
その他一般		810	116	926	42.0%	734	37.6%
合計		1,610	594	2,204	100.0%	1,952	100.0%
前年度比		+111	+141	+252	—	-420	—
S44 年以來の累計		—	—	87,754	—	85,550	—

## (6) 閲覧文書点数の状況

区分	平成 24 年度		平成 23 年度	
	点数	比率	点数	比率
毛利家文庫	10,786	44.8%	9,927	41.5%
徳山毛利家文庫	816	3.4%	649	2.7%
県庁伝来旧藩記録	527	2.2%	505	2.1%
山口小郡宰判記録	66	0.3%	37	0.2%
郡役所文書	182	0.8%	126	0.5%
行政文書	2,546	10.6%	2,299	9.6%
行政資料	300	1.2%	3,073	12.9%
諸家文書	5,554	23.1%	3,876	16.2%
三卿伝史料	102	0.4%	73	0.3%
両公伝史料	952	4.0%	1,021	4.3%
県史編纂所史料	233	1.0%	177	0.7%
一般郷土史料	192	0.8%	274	1.1%
軸物資料	296	1.2%	320	1.3%
複写資料	1,426	5.9%	691	2.9%
図書	90	0.4%	838	3.5%
その他	3	0.0%	20	0.1%
合計	24,071	100.0%	23,906	100.0%
S44～H24 年度累計	861,100	—	837,029	—

## (7) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品 製作	貸出	レファレンス 件数
H24 年度	42	1,254	272	0	11	1,082
(H23 年度)	(35)	(1,055)	(250)	(0)	(7)	(902)

## (8) 貸出

山口県立美術館	企画展「防長の絵図ー美しき古地図の世界」 ----- 7/10～8/31 (毛利家文庫「行程記」など 15 点)
萩博物館	没後 100 年記念特別展「楫取素彦と幕末・明治の群像」 ----- 9/4～11/2 (吉田松陰関係史料など 3 点)
伊藤公資料館	企画展「伊藤博文と第二奇兵隊」 ----- 8/30～10/5 (毛利家文庫など 5 点)
山口県立山口博物館	開館 100 周年記念「山口博物館所蔵名品展」 ----- 9/6～10/5 (地下上申絵図など 2 点)
山口市歴史民俗資料館	企画展「山口の連歌と俳諧ー宗祇から菊舎までー」 ----- 9/22～11/18 (安部家文書など 26 点)
大阪城天守閣	特別展「秀吉の城」 ----- 9/27～12/5 (毛利家文庫 1 点)



鳥取市あおや郷土館	亀井茲矩没後 400 年記念展
	9/28～11/22 (地下上申絵図 1 点)
島根県立 古代出雲歴史博物館	企画展「戦国大名尼子氏の興亡」
	10/10～平成 25 年 1/18 (冷泉家文書 1 点)
安芸高田市 歴史民俗博物館	秋季企画展「毛利元就をめぐる女性たち」
	10/23～12/16 (毛利家文庫など 3 点)
徳島県立 徳島城博物館	特別展「唐入りの時代～秀吉の大陸出兵と大名たち～」
	平成 25 年 1/29～2/27 (毛利家文庫 3 点)
山口県	「祝 安倍晋三内閣総理大臣御就任 山口県の総理総裁展」
	平成 25 年 1/11～2/5 (吉富家文書など 15 点)

## 8 刊行物

### 24 年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第 40 号 (H25.3.29 発行)  
A5 判 160 頁
- ② 『文書館ニュース』第 47 号 (H25.3.29 発行)  
A4 判 8 頁

## 9 地方調査員

### (1) 地方調査員会議

第 1 回 平成 24 年 7 月 5 日 県立山口図書館第 1 研修室

- ・活動報告
- ・「中世文書の見方」専門研究員 和田秀作
- ・「萩藩一門宍戸家中における文書様式」専門研究員 山崎一郎
- ・調査打ち合わせ

第 2 回 平成 24 年 11 月 1 日 県立山口図書館第 2 研修室

- ・第 1 部 市町の公文書保存に関する最新事例の紹介  
「公文書保存から文書館へ～三豊市文書館を事例に～」三豊市文書館専門員 宮田克成
- ・第 2 部 地域の文書記録類保存に関する情報交換

### (2) 地方調査員による文書調査報告実績

地方調査員から 16 件、3,023 点の調査報告があった。

### (3) 地方調査員名簿 (任期 平成 23.4.1～平成 25.3.31)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
岩国・柳井・和木	惠本 洋嗣	山口	佐久間 努
周南・下松・田布施・周防大島	佐伯 隆	山陽小野田・美祢・下関	吉本 一雄
防府・佐波	重枝 慎三	萩・阿武ほか	寺山 忠満

## 10 広報・普及

### (1) 広報活動

『文書館ニュース』第 47 号 (A4 判 8 頁) を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

(2) 第7回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日(金)～10日(日)実施。参加者は延べ1,357人。詳細は以下のとおり。

<アーカイブズ展示>6月1日(金)～10日(日) (文書館閲覧室)

「絵図と古文書で見る萩往還」

参加者 644人。

<歴史探究講座>6月9日(土) (県立山口図書館レクチャールーム)

「絵図と古文書で歩く萩往還～萩から三田尻まで～」

参加者 300人。

<ギャラリートーク>6月9日(土)・10日(日) (文書館閲覧室)

専門研究員がアーカイブズ展示の解説を行った(計4回)。

参加者 200人。

<文書館を使ってみよう!>6月3日(日) (県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室)

専門研究員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者 10人。

<アーカイブズ歴史小話>6月3日(日)・10日(日) (県立山口図書館第1研修室)

専門研究員がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介した。

参加者 91人。

<書庫見学ツアー>6月1日(金)～10日(日) (文書館書庫)

専門研究員の解説で、普段公開していない書庫の見学ツアーを行った。(計12回)

参加者 112人。

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
4月	「毛利家の家紋」	山崎
5月	「二ノ丸様と杉小次郎(1)」	和田
6月	「萩往還と道松」	山田
7月	「古文書にみる祭り・行事」	伊藤
8月	「井伏鱒二・萩原井泉水の書簡 ー亙理家文書からー」	吉積
9月	「つとめ」と「贈答」	金谷
10月	「幕末のガラス写真」	山田
11月	「二ノ丸様と杉小次郎(2)」	和田
12月	「萩藩密用方と藩士長谷川甚平」	山崎
1月	「明治時代の修学旅行ー16泊17日間の旅ー」	山本
2月	「倒れ行く者達 ー廻国修行者の行き倒れー」	伊藤
3月	「牛を殺す怪獣 シイ」	金谷

(4) 古文書入門講座 (於: 県立山口図書館第1研修室)

古文書入門講座を5～2月の毎月1回、第4土曜日(14時～16時)に開催した。今年

度も申込者が多く、抽選の上、受講者 30 名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	古文書に慣れよう	山本
10月～2月	国司広孝「聞書」（毛利家文庫16叢書36）を読む	金谷

(5) 古文書専修講座（於：県立山口図書館第1研修室）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日（14時～16時）に開催した。受講者は、抽選の上30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	右田毛利家文書を読む	和田
10月～2月	無宿半七の隠れ旅	伊藤

(6) 古文書実践講座（於：県立山口図書館第1研修室ほか）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日（10時～12時）に開催した。受講者は、21名であった。実施内容は次のとおり。

なお、講座修了後、受講者作成の積文に解説・注記などを加え、当館 Web サイトで公開した。

日程	主題	講師
5月～9月	安部家文書の奥州旅日記類3冊を自主的に解説する	山崎
10月～2月		山田

(7) 文書館活用講座（於：県立山口図書館第1研修室等）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、古文書の基礎知識や読解力の習得を通じて古文書への関心を深め、学校教育に古文書を活用する契機を提供することを目的に、8月7～10日の4日間、集中して実施した。受講者は7名で、その内容は次のとおり。

日程	午前（9時30分～12時）	午後（13時～16時）
8月7日（火）	開講式 文書館について（金谷）	文書館史料の効果的な活用法 （山本）
8日（水）	古文書の基礎知識（山崎） 古文書を読んでみよう（和田）	絵図・地図の基礎知識（山田） 絵図・地図を見てみよう
9日（木）	資料の活用方法－絵図を片手に街を歩こう－（伊藤）	授業で使える資料を実際に集めてみよう①
10日（金）	授業で使える資料を実際に集めてみよう②	授業で使える資料を実際に集めてみよう③ 発表会 閉講式

(7) 行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。

9月10日に実施し、113名の参加があった。

(8) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和 62 年法律第 115 号）および公文書管理法第 34 条（平成 21 年法律第 66 号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を立ち上げた。

11 月 1 日に実施し、市町等から 42 名の参加があった。

11 研究活動

(1) 研究実績

・金谷匡人

『防長風土注進案』 「風俗」の項にみる村の「正月」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（3）ー」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

・山田 稔

「萩藩郡方地理図師の職務と地位ー有馬家の筆並騒動を巡ってー」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

「萩藩郡方地理図師有馬喜惣太ーその作品と生涯ー」

『地域文化研究』第 28 号（平成 25 年 3 月）

「防長の古地図ーその特徴と魅力ー」

『佐波の里』第 41 号（平成 25 年 3 月）

・和田秀作

「大内義隆と陶隆房」

『山口県史 通史編中世』（平成 24 年 10 月）

「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（3）ー」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

・山崎一郎

「近代における毛利家文庫の保存施設と災害」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

・山本明史

「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（3）ー」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

・伊藤一晴

「山口県文書館ウェブサイトのリニューアルについて」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

・吉積久年

「徳山藩御用焼物を探る」

山口県立萩美術館特別展示「古萩ー江戸の美意識ー」図録（平成 24 年 10 月）

「赤間硯の史料」

『山口県文書館研究紀要』第 40 号（平成 25 年 3 月）

(2) 研究会等

・金谷匡人

全国街道交流会議 第 9 回全国大会「萩往還・山口大会」基調報告（2/1）

科研「被差別民衆史・研究方法論」発表「山口市問田の覚定とその周辺～中世陰陽師の

近世的風景～」(2/16)

・山田 稔

防府史談会総会講演「防長の古地図－その特徴と魅力－」(6/2)

美祢市ふるさと講座「防長の古地図－その特徴と魅力－」(9/8)

松下村塾開塾 160 年記念シンポジウム(第 116 回山口県地方史研究大会共催)パネリスト(10/14)

萩まちじゅう博物館市民講座「防長の古地図－その特徴と魅力－」(11/8)

鴻ノ峯学級講演「絵図と古文書で歩く萩往還」(11/13)

梅光学院大学地域文化研究所第 26 回大会講演「萩藩郡方地理図師有馬喜惣太－その作品と生涯－」(2/16)

・和田秀作

雪舟研究会(7/6)

「ほしらんどくだまつ」開館記念・下松地方史研究会特別講演会「中世の鷲頭氏」(7/29)

・山崎一郎

広島史学研究会シンポジウム「移行期の文書管理」報告「近代における毛利家文庫の形成と萩藩庁文書」(10/27)

・山本明史

第 38 回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会研修会講師「学校との連携に関する取り組み－山口県文書館の事例－」(11/8)

・伊藤一晴

山口県八幡宮研修会講師「県内神社のお祭りについて」(7/6)

## 12 その他

### Ⅲ 平成 25 年度の計画

#### 1 業務

##### (1) 保存対策

国指定重要文化財 山口県行政文書の修復

##### (2) 刊行物

『山口県文書館年報（平成 24 年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第 41 号の刊行

『文書館ニュース』第 48 号の発行

##### (3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

平成 25 年 6 月 1 日（土）～9 日（日）

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム及び研修室等

##### 古文書講座

古文書入門講座（定員 30 名）

会期 平成 25 年 5 月～平成 26 年 2 月の第 4 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書専修講座（定員 30 名）

会期 平成 25 年 5 月～平成 26 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書実践講座（定員 21 名）

会期 平成 25 年 5 月～平成 26 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

授業で使える 文書館活用講座

会期 平成 25 年 8 月 6 日（火）～9 日（金）

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象 行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象 行政機関の担当者）

2 職員（平成 25.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	長谷川 信明	館務統轄
副館長	金谷 匡人	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山田 稔	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	和田 秀作	諸家文書に関すること
〃	山崎 一郎	藩政文書に関すること
〃	山本 明史	行政資料に関すること
〃	伊藤 一晴	行政文書に関すること
（兼）総務管理グループリーダー	河村 哲	庶務会計等
（兼）主事	辻岡 優	〃
嘱託職員	吉積 久年	文書整理
臨時職員	羽鳥 由貴	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助

3 地方調査員（任期 平成 25.4.1～平成 27.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
玖珂	惠本 洋嗣	厚狭	吉本 一雄
玖珂	山田 豊	豊浦	安富 静夫
都濃	佐伯 隆	大津	岡藤 正作
吉敷	佐久間 努	阿武	寺山 忠満

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	9,818	運営関係費
文書保存整理刊行費	2,338	文書の整理等
文化事業費	2,602	古文書講座・文書の修復等
合計	14,758	